

富士山南東消防本部 火災・救急・救助統計

平成 29 年中の災害件数や救急搬送件数が増加

平成 29 年中の災害統計を公表します。災害件数は増加傾向で、特に高齢者の救急搬送が顕著です。

富士山南東消防本部 総務課
☎972-5801

	火災	救急	救助
管内 (裾野 / 三島 / 長泉)	58 件 (+11)	8,691 件 (+531)	99 件 (+20)
裾野市	19 件 (+ 2)	2,146 件 (+102)	25 件 (-10)



裾野市の救急統計 (前年比)

搬送人員 1,993人(+86)		事故種別出動件数	
死亡	35 人(- 3)	急病	1,165 件(+20)
重症	220 人(+17)	一般負傷	311 件(+27)
中等症	907 人(+38)	交通	201 件(+31)
軽症	831 人(+34)	その他	469 件(+24)
新生児*	2 人(- 1)		
乳幼児*	121 人(+10)		
少年*	88 人(+ 6)		
成人*	709 人(-20)		
高齢者*	1,073 人(+91)		

※新生児 生後 28 日以内
乳幼児 生後 29 日以上 7 歳未満
少年 満 7 歳以上満 18 歳未満
成人 満 18 歳以上満 65 歳未満
高齢者 満 65 歳以上

市町境 (旧消防本部管轄) を越える救急出動件数

	件数 (出動先)
裾野からの出動	155 件 (三島 107 件、長泉 48 件)
三島からの出動	181 件 (裾野 19 件、長泉 162 件)
長泉からの出動	193 件 (裾野 123 件、三島 70 件)
合計	529 件 (裾野 142 件、三島 177 件、長泉 210 件)



最新車両の紹介

配備後 20 年以上経過した「はしご付消防自動車」を更新しました。はしご付消防自動車は、ビル火災や高所での救助現場に出動する車両で、消火活動の他、人命救助活動の第一線で活躍します。

【最新車両の主な特徴】

35m 級先端屈折式のはしご、はしご固定式伸縮水路、リフタ装置、固定式バスケット装置、毎分 2,000 リットル放水可能な電動制御の放水銃などを装備。



- ①はしご車架梯風景
- ②バスケット装置と放水銃
- ③高所からの放水風景